

札幌市都市計画マスタープランの見直しに関する
まちづくり子どもアンケート調査結果

平成27年1月

札幌市市民まちづくり局都市計画部都市計画課

Ⅱ.子どもアンケートの結果

1. 調査の概要

(1) 調査の対象

平成26年度に都市計画制度普及事業（ミニまち講座・まちなみ案内）を利用した小学校の児童（3～6年生）
21校、1,430人

(2) 調査の方法

調査票は、郵送により配布・回収しました。

(3) 調査の期間

平成26年10月15日（水）～平成26年11月10日（月）

(4) 回収結果

1,363人の方から回答いただき、回収率は95.3%でした。

2. 調査結果の概要

(1) 現在の場所に住み続ける意向

- 約7割が、現在住んでいる場所に満足し、大人になっても住み続けたいという回答でした。
- 現在住んでいる場所に住み続ける意向は、郊外住宅地において高い傾向にありました。
- 約3割が現在住んでいる場所に住み続けたくない意向であり、住んでいる場所が好きではないという理由の他、いろいろなところに住みたい、親から離れて暮らしたいなどの理由があげられました。

(2) 今後住みたい場所

- 自然が身近にある静かな住宅地(郊外住宅地)での居住意向が高くみられました。
- 拠点などの利便性のよい地域に住む回答者は、利便性の高い場所への居住意向が比較的高くなっていました。

(3) 今後のまちづくり

- 災害に強いまちが最も望まれており、その他、環境に優しいエコなまち、まちの景色が美しいまちが多く望まれていました。

3. 調査結果（詳細）

Q1. あなたは、何年生ですか。

Q2. あなたの性別を教えてください。

・小学校3年生から6年生、また、男女についても偏りが見られず回答が得られました。

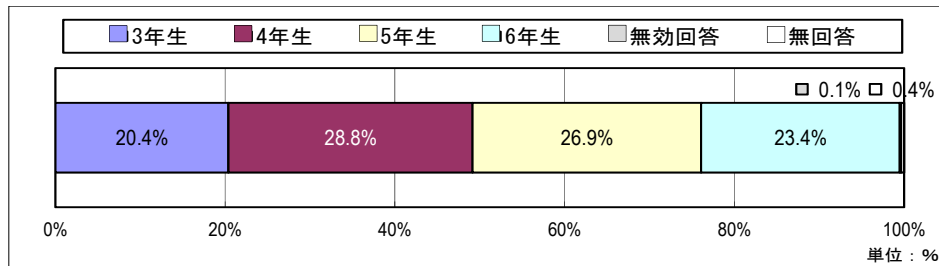


図1 学年

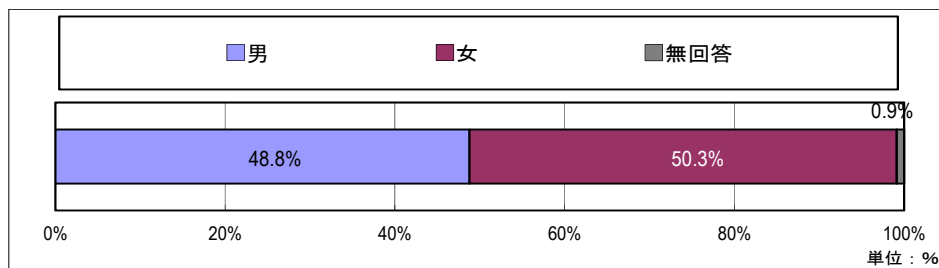


図2 性別

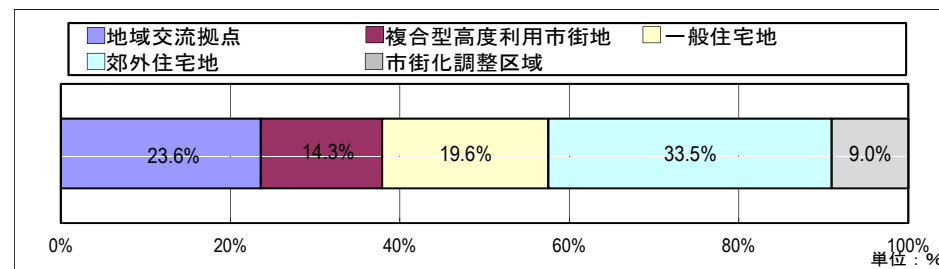


図3 市街地区分

Q3. 大人になっても今住んでいる場所に住み続けたいですか。

- ・約7割が大人になっても現在住んでいる場所に住み続けたいという回答でした。
- ・市街地区別では、郊外住宅地において現在住んでいる場所に住み続けたい意向が比較的高い傾向がみられた。

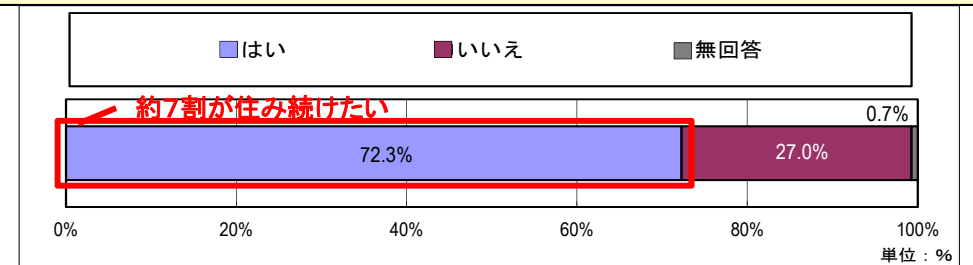


図4 大人になっても今住んでいる場所に住み続けたいか

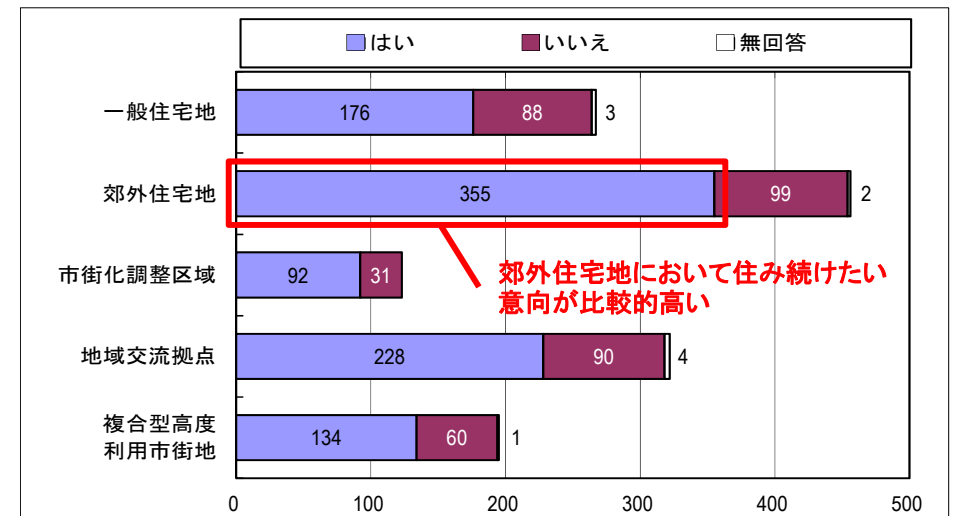


図5 大人になっても今住んでいる場所に住み続けたいか(市街地区別)

3. 調査結果（詳細）

Q4. 住み続けたいと思う理由はなんですか。

Q5. 住み続けたいと思わない理由はなんですか。

- ・ **住んでいる場所や家が好きで現在住んでいる場所に住み続けたい**という意向が多くみられました。
- ・ **現在住んでいる場所に住み続けたくない理由**としては、**住んでいる場所や家が好きではない**という回答のほか、その他として、いろいろなところに住んでみたい、親から離れて自分で暮らしたいなどの回答がみられました。

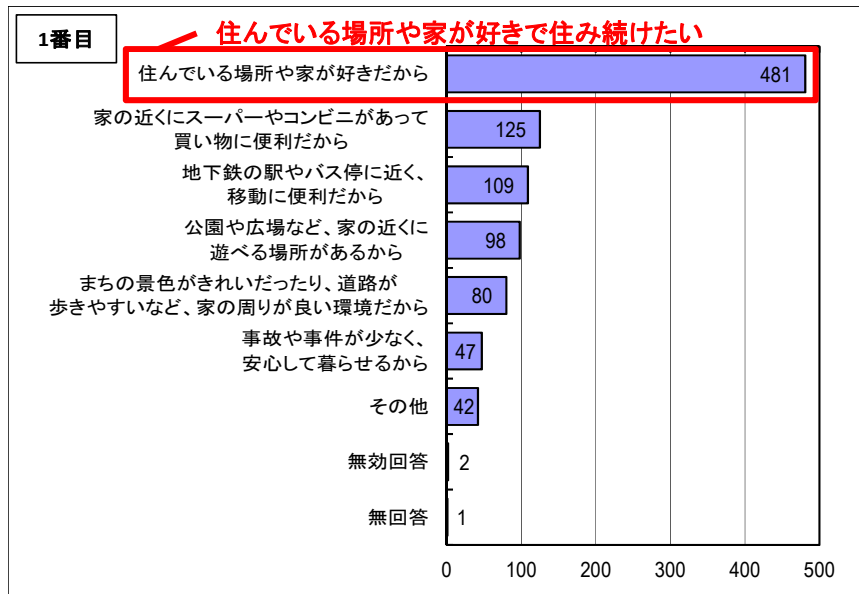


図6 住み続けたい理由(1番目)

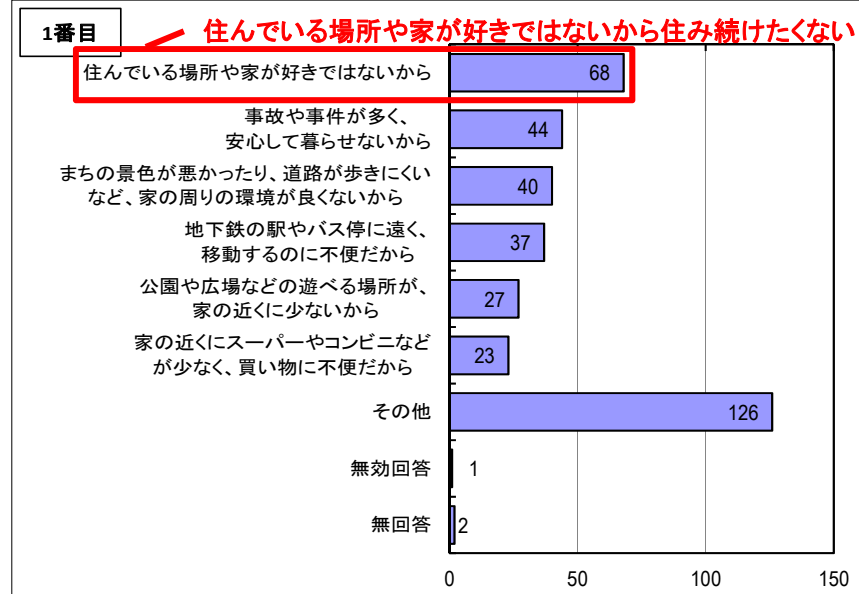


図7 住み続けたくない理由(1番目)

3. 調査結果（詳細）

Q6. あなたが大人になったときに住みたいと思う場所は、次のうちどれですか。

- ・大人になった時に住みたい場所は、**自然が身近にある静かな住宅街（郊外住宅地）が最も多く、続いて、札幌駅・大通周辺のまちの中心部（都心）が多くなっていました。**
- ・市街地区別では、郊外住宅地や市街化調整区域に住む回答者において、自然豊かで静かな住宅街（郊外住宅地）を望む傾向にあり、その他の地域では、半数程度が利便性のよいところでの居住を望む傾向がみられました。

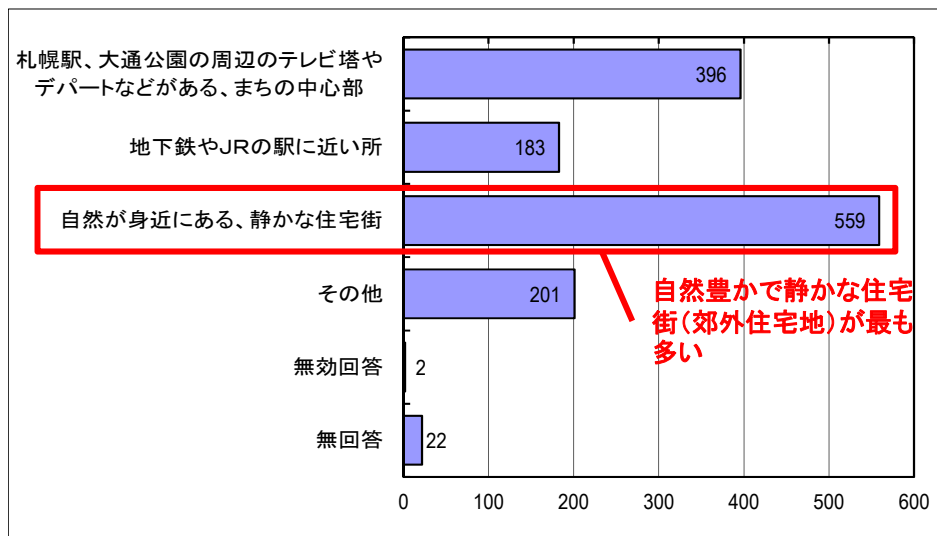


図8 大人になった時に住みたい場所

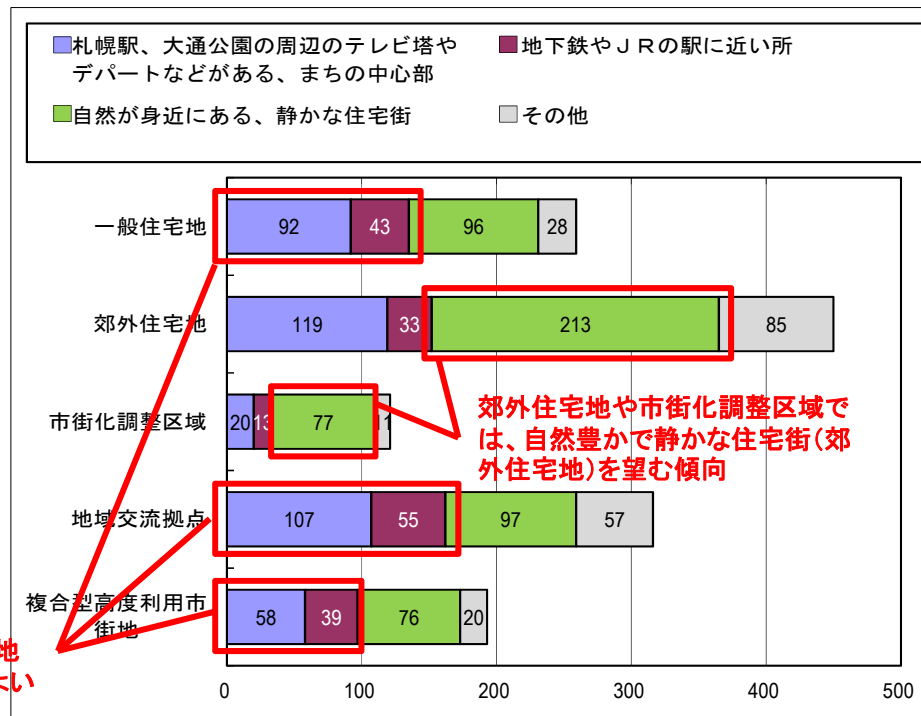


図9 大人になった時に住みたい場所(市街地区別)

拠点等の比較的利便性のよい地域では、半数程度が利便性のよいところでの居住を望む傾向

自然豊かで静かな住宅街(郊外住宅地)が多い

郊外住宅地や市街化調整区域では、自然豊かで静かな住宅街(郊外住宅地)を望む傾向

3. 調査結果（詳細）

Q7. これからの札幌市が、どのようなまちになってほしいと思いますか。

・ これからの札幌市のまちへの希望については、「災害に強いまち」が最も多く、続いて、「環境にやさしいエコなまち」、「まちの景色が美しいまち」となっていました。

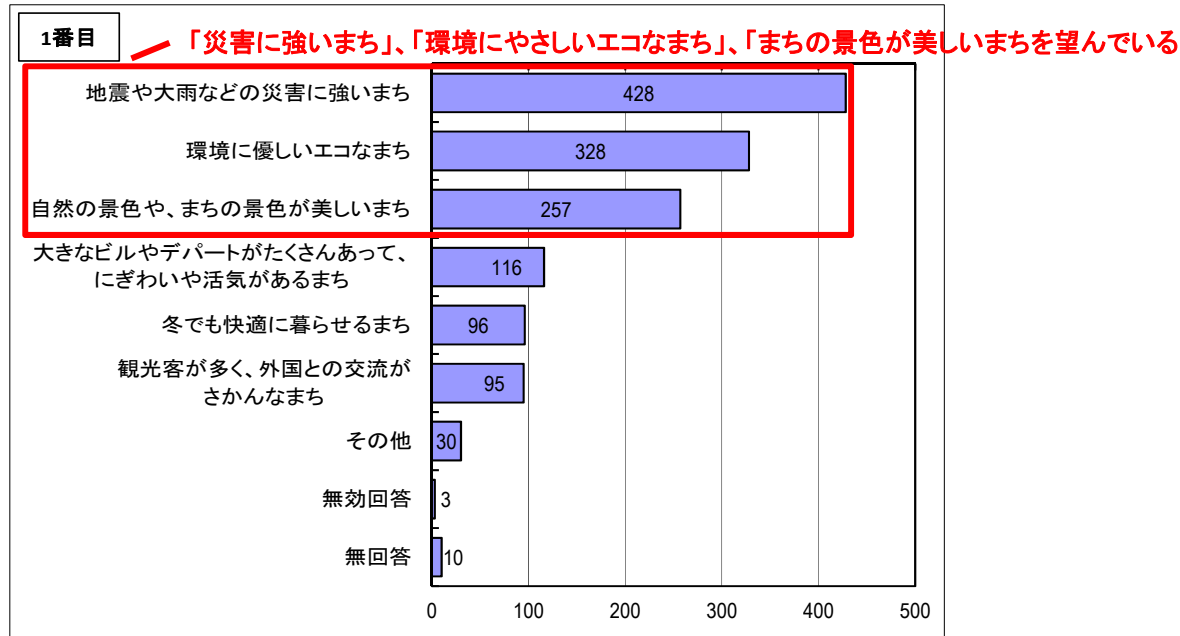


図10 これからの札幌市のまちのあり方